

国立市長選はじまる

国立新聞

国立新聞 企画編集部
国立市中1-13-45-202
問合せ先 042-574-3410
info@ma-ma-ma.com
責任編集 間瀬英一郎

号外

2候補 マニフェスト！政策比較



写真提供：流れを変える・くにたちの会

新人 土屋 邦美 候補(72)

昭和23年、東京都生まれ。国立市在住。一級建築士。東京芸術大学卒。大手総合建設会社に38年間勤務。国立市の審議会委員経験者。趣味はすしを握ること。



写真提供：永見かずお後援会

現職 永見 理夫 候補(71)

昭和24年、鳥取県生まれ。国立市在住。早稲田大学卒。昭和49年に国立市役所に入庁。平成28年の国立市長選に出馬、当選し現職。趣味はボルダリング。

国立市長選が六日告示され、再選を目指す現職の永見理夫氏(71)と新人の土屋邦美氏(72)の無所属二人が立候補を届け出た。新学校給食センターなどの公共施設や都市計画道路の整備事業が主な争点とみられる。投票日は13日。本紙は独自に両候補を調査し、次期の市政に対する主要なマニフェストや政策の比較を行った。(間瀬英一郎)

やさしさと良識ある市政に流れを変える。コロナ禍での不要不急の開発・都市計画道路を中止し「命と健康を守る」市政を、憲法と市民の声に基づき実現する。	4年間の実績をもとに市民とともにコロナ禍を越え、住みたくなるまち、住むことに誇りを持てるまち、持続可能な活力のあるまち くにたちの実現に取り組む。	基本理念・信条
・0~2歳児の保育料無償化、病児・病後児保育の充実 ・公営を守りながら保育園を増設し、待機児童を解消 ・産前産後ケアの推進、新生児のおむつ1年間無料化	・幼稚園や保育園と連携した、さらなる待機児童対策 ・豊かな保育の実現のため、公立保育園の民営化推進 ・産後ケアのため、子育て世代包括支援センター設置	生活支援・子育て支援
・少人数学級により教員の多忙化を防ぎ、教育を充実 ・食育基本計画を策定し、学校給食を自校方式とする ・公民館の無料利用を堅持して、市民の学習権を保障	・非認知能力を育む幼児教育推進プロジェクトの充実 ・国のGIGAスクール構想に対応、学校のICT教育推進 ・国立第二小学校を改築、新たな学校のモデルづくり	教育・学校・生涯学習
・介護等で在宅と施設を選択できる地域包括ケア推進 ・特養ホームの増設、各種高齢者福祉サービスの復活 ・市民の健康や衛生を支える保健所の市内開設を図る	・認知症になっても高齢者が安心して暮らせるまちへ ・医師会や薬剤師会等との連携による地域医療の充実 ・高齢者孤独死ゼロを目指し、地域での見守りを強化	健康・福祉・介護支援
・ハラスメント防止、LGBTsへの差別解消や理解促進 ・しょうがい児、性的マイノリティの児童のサポート ・子どもの貧困対策、居場所づくりの推進	・パートナーシップ制度定着に向け関係機関へ働きかけ ・子ども基本条例を定め、インクルーシブ教育を推進 ・就労困難者を受け入れるソーシャルファームの推進	人権・ダイバーシティ
・エッセンシャルワーカーへのPCR検査を公費で保障 ・2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた取組を推進 ・水害危険エリアへの新学校給食センターの移転中止	・新型コロナ対応の避難所体制構築、防災倉庫の増設 ・再生可能エネルギー比率向上、市施設のLED化推進 ・市内3駅のホームドア設置を推進、転落事故を防止	防災・環境・安心安全
・国立駅南口駅前広場を憩いの場に、市民参加で計画 ・矢川の自然を壊す都市計画道路3.3.15号線の見直し ・国立第八小学校、国立第三中学校の統廃合の見直し	・利便性や安全性を高めた国立駅南口駅前広場の整備 ・矢川エリアに複合公共施設「(仮)矢川プラス」開設 ・新学校給食センターをPFI(民間活用)方式で整備	まちづくり・公共施設
・コロナ禍で苦しむ地元商店や個人事業主を支援 ・都市計画税、固定資産税の減免拡大 ・市内の農家と連携し、地産地消による豊かな給食を	・コロナ禍を超えるべく、事業者に対し積極的に支援 ・中小企業支援や創業支援の新たな形 Kuni-Biz 開設 ・都市農業を支援し、農地と崖線を保全	商業・農業・来街促進
・文教都市にふさわしい図書館を公営を守りつつ実現 ・旧国立駅舎を文化や交流の拠点として積極的に活用 ・富士見通りなどの電線を地中化し、景観を守る	・イタリアのルッカ市との友好交流都市協定を締結 ・歴史遺産の旧本田家住宅を文化財として保護、整備 ・アーティストの市内での活動を支援	文化・芸術・スポーツ
・情報公開と十分な話し合いを保った市民自治の市政 ・不要不急の予算を止め、命と健康を守る予算を優先 ・ジェンダー平等化を推進、非正規職員を正規雇用へ	・財政基盤を強化すべく、人口8万人実現施策を推進 ・行政デジタル化、書類の脱はんこ、ペーパーレス化 ・女性管理職の積極登用、フレックスタイム制の導入	行政運営・財政運営